「はたちの献血キャンペーン（1/1～2/28）」に寄せて

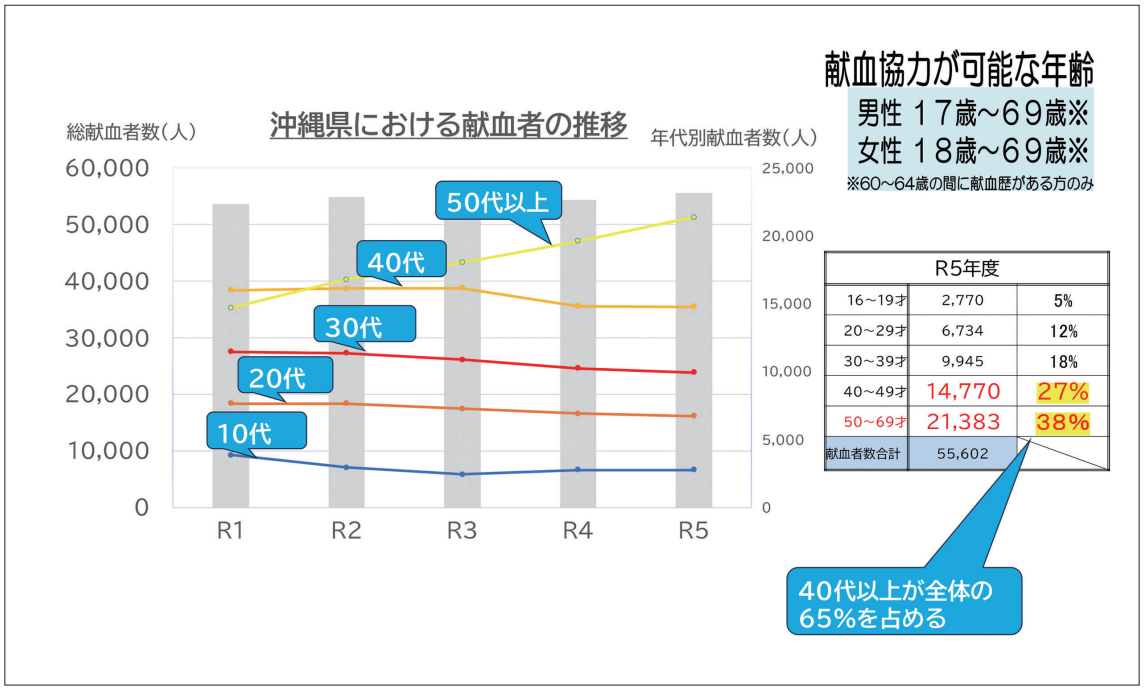
沖縄県赤十字血液センター　事業部長　金城　匡

新年明けましておめでとうございます。

沖縄県医師会会員の皆様には、日頃より血液製剤の適正使用及び献血推進に多大なるご協力をいただきこの場をお借りして感謝申し上げます。

「はたちの献血」というフレーズをテレビやラジオでお聞きになった事があると思います。

毎年のことですが、寒くなると献血者数が減少する傾向にあり、血液製剤の安定供給を確保するため、「はたち」の若者を中心として献血に関する理解と協力を広く呼びかけることを目的に昭和50年より始まり、今年も1月1日から2月28日までの間「はたちの献血キャンペーン」が全国で展開されております。

わが国では、少子高齢化が急速に進んでおりますが、同時に若い人の献血離れも深刻な状況です。令和5年度に沖縄県内で献血に協力していただいた方の年齢層を見てみると、10代の献血協力者が全体の5%、20代が12%、40代以上が65%を占めており献血者の高齢化が進んでいます。この状況が続くと輸血に必要な血液製剤の確保が困難な状況となる恐れがあり、若年層に対する献血推進活動の取組みが大変重要です。

この機会にご家族やご友人をお誘い合わせの上、献血会場にお越しいただければ幸いです。特に若い方には、ぜひ継続的な献血へのご協力をお願い致します。